



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4999 URL http://www.cemedine.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒井 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猪瀬 一弘 (TEL) (03)3442-1381  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月5日 配当支払開始予定日 平成22年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,897	4.0	469	163.8	496	271.4	281	431.1
22年3月期第2四半期	9,518	△11.8	178	46.6	133	12.8	52	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	19.18	19.00
22年3月期第2四半期	3.57	3.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	16,815	8,408	49.3	568.22
22年3月期	16,780	8,297	48.8	552.50

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,294百万円 22年3月期 8,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	6.7	700	33.2	670	31.0	370	68.7	24.94

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	15,167,000株	22年3月期	15,167,000株
23年3月期2Q	570,317株	22年3月期	332,822株
23年3月期2Q	14,660,145株	22年3月期2Q	14,834,868株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、中国を中心とするアジア経済に支えられ生産や輸出が増加し企業収益が改善するなど持ち直しの動きが見られました。しかしながら、国内の政策効果の一巡や急速な円高、世界経済の減速など景気下振れ懸念が広がっております。また、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況にあり、個人消費の回復は力強さを欠いております。

当社グループ関連業界におきましては、工業関連市場の一部では新興国の成長に支えられ持ち直しが続いているものの、建築土木関連市場では政策効果による影響も未だ限定的であり建築土木関連市場全体としては厳しい状況が続きました。また、主要材料価格は、原油・ナフサ価格変動の影響を受け、先行きは不透明なものとなっております。

このような環境のもと、当社グループでは、環境対策品、高機能品等の拡販による売上高の確保に努めるとともに、厳しい外部環境に対応できる企業体質を構築するため、業務の一層の効率化と徹底的なコスト削減に取り組んでまいりました。

建築土木関連市場におきましては、大型建築現場や公共投資が低調に推移したことにより建築用シーリング材の売上は低迷しましたが、各種の政策効果による住宅建設の持ち直しにより内外装工事用接着剤が伸張し、売上高は4,758百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

一般消費者関連市場におきましては、雇用や所得の先行きに不透明感が強い中で、デフレ認識が浸透し低価格偏重指向が続いております。一般用セメダインスーパーXシリーズの拡販や瞬間接着剤シリーズの販売キャンペーンを行うなど拡販に努めましたものの、ホームセンターの価格競争が激しさを増したことなどから販売価格が低迷し、売上高は2,275百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

工業関連市場におきましては、電機市場やアジア地域での需要回復が堅調に続いております。電子部品向け等の工業用セメダインスーパーX系接着剤、太陽電池や鉄道車両向け高機能製品の売上が伸張し、売上高は2,863百万円(前年同四半期比12.8%増)となりました。

これらの結果、当第2四半期の連結売上高は9,897百万円(前年同四半期比4.0%増)となりました。利益面につきましては、高機能製品の売上が増加したことに加え、連結子会社シー・エヌ・シー(株)の生産が順調に推移し業績が好転したこともあり、営業利益は469百万円(前年同四半期比163.8%増)、経常利益は496百万円(前年同四半期比271.4%増)、四半期純利益281百万円(前年同四半期比431.1%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末と比較し193百万円増加し11,692百万円となりました。これは主に、現金及び預金が120百万円、受取手形及び売掛金が209百万円増加し、たな卸資産が101百万円減少したことによります。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により前連結会計年度末と比較し157百万円減少し5,117百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比較し35百万円増加し16,815百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末と比較し420百万円増加し7,020百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が357百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較し496百万円減少し1,386百万円となりました。これは主に、長期借入金が384百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比較し75百万円減少し8,407百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて111百万円増加し8,408百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、自己株式の取得、評価・換算差額等の減少によるものがあります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績は概ね想定範囲内で推移しているため、通期連結業績予想につきましては平成22年4月30日に発表いたしました連結業績予想を修正しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計基準等の変更に伴う変更)

#### ① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,556,393	3,435,739
受取手形及び売掛金	6,115,365	5,906,114
商品及び製品	1,153,813	1,226,034
仕掛品	178,614	178,570
原材料及び貯蔵品	400,636	429,606
その他	296,194	339,370
貸倒引当金	△8,135	△16,489
流動資産合計	11,692,882	11,498,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,957,011	2,018,700
その他(純額)	1,394,849	1,459,958
有形固定資産合計	3,351,861	3,478,659
無形固定資産		
投資その他の資産	233,616	248,222
投資有価証券	866,868	934,871
その他	693,694	638,200
貸倒引当金	△28,385	△25,238
投資その他の資産合計	1,532,176	1,547,833
固定資産合計	5,117,653	5,274,715
繰延資産	5,212	6,693
資産合計	16,815,749	16,780,353
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,448,719	5,091,071
短期借入金	510,000	558,000
未払法人税等	189,290	37,241
賞与引当金	226,685	220,557
その他	645,523	692,979
流動負債合計	7,020,218	6,599,850
固定負債		
長期借入金	—	384,000
退職給付引当金	859,970	965,217
その他	526,992	533,841
固定負債合計	1,386,962	1,883,058
負債合計	8,407,181	8,482,909

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,676,947	2,676,947
利益剰余金	2,951,344	2,714,661
自己株式	△185,557	△108,330
株主資本合計	8,493,109	8,333,654
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,061	△6,794
為替換算調整勘定	△136,990	△131,038
評価・換算差額等合計	△199,052	△137,832
新株予約権	30,195	20,969
少数株主持分	84,315	80,652
純資産合計	8,408,567	8,297,444
負債純資産合計	16,815,749	16,780,353



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,518,370	9,897,296
売上原価	7,101,009	7,185,451
売上総利益	2,417,361	2,711,844
販売費及び一般管理費	2,239,235	2,241,988
営業利益	178,125	469,855
営業外収益		
受取利息	2,006	1,158
受取配当金	6,826	7,335
持分法による投資利益	—	33,594
その他	17,489	31,189
営業外収益合計	26,322	73,278
営業外費用		
支払利息	9,714	5,438
売上割引	35,495	35,258
持分法による投資損失	6,853	—
支払補償費	8,897	2,082
その他	9,771	3,768
営業外費用合計	70,732	46,547
経常利益	133,716	496,586
特別損失		
固定資産除却損	13,659	11,886
特別損失合計	13,659	11,886
税金等調整前四半期純利益	120,057	484,699
法人税等	61,156	184,347
少数株主損益調整前四半期純利益	—	300,352
少数株主利益	5,957	19,167
四半期純利益	52,943	281,184

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。